

◎カルタン OD 錠, △細粒, △沈降炭酸カルシウム錠「三和」, ▼炭カル錠, △沈降炭酸カルシウム [内]

【重要度】 【一般製剤名】 沈降炭酸カルシウム (U) precipitated calcium carbonate 【分類】 制酸剤・リン吸着剤・Ca 補給剤

【単位】 ◎錠：500mg/錠 (カルタン OD, 「三和」), △250mg 「三和」, △細粒：830mg/g, △原末 g

【常用量】 ■Ca 補給・リン吸着：3g/日 ■胃・十二指腸潰瘍、胃炎、上部消化管機能異常：沈降炭酸 Ca として1~3g/日を3~4回に分けて投与

【用法】 1日3回食直後

【透析患者への投与方法】 1~3g [分1~3食直前または食直後] (5)

【その他の報告】 カルシトニンと併用すると (炭酸ランタン単独と同程度に) 高 Ca 血症を予防できる (Wei Y, et al: Ther Apher Dial 27, 2014)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 1~3g/日を食直後に投与 (1) Ca 補給の目的では食間に投与することもある (1)

【特徴】 Ca 補給もしくはリン吸着を目的に投与される。1g 中に 400mg (20mEq) の Ca を含む (含有率が高い)。低酸症では吸収が低下する。

【主な副作用・毒性】 高 Ca 血症, アルカローシス, 便秘など

【安全性に関する情報】 原則として透析患者には絶食時は服用しないように指導する (5)

【排泄】 腎で 20%排泄 (Ca の吸収の度合いや骨病変・腎障害の存在により変化する)、糞中に 80%排泄されるが、そのほとんどが吸収されなかったもの (U)

【蛋白結合率】 血漿内で 45% (U)

【MW】 100.09

【透析性】 該当しない (5)

【O/W 係数】 溶けない (11)

【相互作用】 H2拮抗剤と併用により P 吸着能が低下 (腎と透析 41: 695-8, 1996) 鉄剤の吸収を妨げ、65mg の Fe と 3g の炭酸カルシウムを併用すると Fe の bioavailability は 81% に有意に低下する。酢酸 Ca では 73% に有意に低下し、セベラマーでは有意な変化なし (Pruchnicki MC, et al: J Clin Pharmacol 42: 1171-6, 2002)

【主な臨床報告】 炭酸ランタンに比べて心臓弁石灰化促進作用は確認されなかった (Watanabe K, et al: BMC Cardiovasc Disord 2020 PMID: 32000687)

【備考】 経口投与された Ca の 1/5~1/3 が小腸で吸収されるが、吸収率は VD の存在、腸管内の pH、繊維やフィチン酸などの存在により変化する。

【更新日】 20201104

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。